

News Release

平成26年2月27日

各報道機関文教担当記者 殿



3/2 知的好奇心を刺激する PM2.5をはじめ、最新の研究を紹介

最近のニュースで大きく取り上げられたPM2.5をはじめ、生活に密接に関係する眠りや肝炎、発ガンのメカニズムなど身近な問題を、将来世界をリードすることが期待される若手研究者から聴き、質問ができるセミナーを開催します。このセミナーで紹介される研究成果は、平成22年度に内閣府の「最先端・次世代研究開発支援プログラム」として本学で採択された6つの研究課題です。研究の成果を地域の皆さまに還元し、理解・支援を得て、共に科学技術を推進するため、未来への希望を抱いてもらえる、心の通ったコミュニケーションの機会にぜひご参加ください。

■金沢大学まちなかサイエンスセミナー

日時 平成26年3月2日（日）13:30～16:00
場所 本多の森会議室 第1会議室（旧石川厚生年金会館）
（金沢市石引4-17-1）

プログラム

- | | |
|-------|---|
| 13:30 | 開会挨拶 |
| 13:35 | 雲をつかむような話：PM2.5と雲の意外な関係
環日本海域環境研究センター 准教授 松木 篤 |
| 14:05 | 眠りと覚醒をあやつる脳のメカニズム
医学保健研究域医学系 教授 櫻井 武 |
| 14:35 | 休憩 |
| 14:55 | 免疫の利点と弱点
医学保健研究域医学系 教授 村松 正道 |
| 15:25 | ゾウはなぜがんになりにくいのか ―がん幹細胞と代謝―
がん進展制御研究所 教授 高橋 智聡 |

については、事前および当日の取材・報道について、どうぞよろしくお願いたします。
※本件は2/14付プレスリリース「将来世界をリードする最新の研究を紹介」と
同一のイベントです。

本件照会先：

金沢大学研究推進部研究推進課総務係 浜浦

Tel： 076-264-6140

担当：

広報戦略室 福田

Tel： 076-264-5024

最先端・次世代研究開発支援プログラム

金沢大学 まちなか サイエンスセミナー

内容

最先端・次世代研究開発支援プログラム
採択者による研究成果報告

入場無料

プログラム

- 13:30～ 開会挨拶
- 13:35～ **講演1** 雲をつかむような話:PM2.5と雲の意外な関係
環日本海域環境研究センター 准教授 松木 篤
- 14:05～ **講演2** 眠りと覚醒をあやつる脳のメカニズム
医薬保健研究域医学系 教授 櫻井 武
- 14:35～ 休憩
- 14:55～ **講演3** 免疫の利点と弱点
医薬保健研究域医学系 教授 村松 正道
- 15:25～ **講演4** ゾウはなぜがんになりにくいのかーがん幹細胞と代謝ー
がん進展制御研究所 教授 高橋 智聡
- 15:55～ 閉会挨拶

2014.3.2 日

13:30～16:00

(13:00開場)

本多の森会議室

第1会議室(旧石川厚生年金会館)

〒920-0935 石川県金沢市石引4-17-1

☎076-231-0191

Next Generation World-Leading Researchers Funding Program for



お問い合わせ先 金沢大学研究推進部研究推進課総務係

〒920-1192 石川県金沢市角間町 ☎076-264-6140 FAX076-234-4016

✉risomu@adm.kanazawa-u.ac.jp http://www.kanazawa-u.ac.jp/



申込フォーム
QRコード

金沢大学 まちなかサイエンスセミナー

最先端・次世代研究開発支援プログラムとは

内閣府が将来、世界をリードすることが期待される潜在的可能性を持った若手・女性・地域の研究者に対して研究支援を行う制度です。我が国の科学・技術の発展を図るとともに、我が国の持続的な成長と政策的・社会的課題の解決に貢献することを目的としています。

金沢大学では、2010年度に6件の研究課題が採択されました。



日時 2014年3月2日(日) 13:30~
場所 本多の森会議室 第1会議室(旧石川厚生年金会館)
 石川県金沢市石引4-17-1

最先端・次世代研究開発支援プログラム 採択者



講演1 雲をつかむような話： PM2.5と雲の意外な関係

環日本海域環境研究センター 准教授 松木 篤

大気中には目に見えない大きさの微粒子(大気エアロゾル)が無数に存在しています。実はこの微粒子が、我々ヒトの健康ばかりでなく、地球の気候に与える影響についても注目が集まっています。私たちの研究室では、主に能登半島を拠点とする観測を通じ、PM2.5などの大気汚染物質や黄砂の混ざり具合を詳細に調べることで、その気候への影響を明らかにしようとしています。



講演2 眠りと覚醒をあやつる 脳のメカニズム

医薬保健研究域医学系 教授 櫻井 武

睡眠は、身体の健康を維持するために欠かせないほか、記憶・学習にきわめて重要です。本研究は睡眠と覚醒を切り替える脳内のメカニズムを解明し、睡眠障害の解決法を見出すことを目標としています。



講演3 免疫の利点と弱点

医薬保健研究域医学系 教授 村松 正道

免疫系は、病原体から私たちを守ってくれます。しかしその免疫系にも副作用があり、病気を作る場合があります。私たちの研究室では遺伝子配列を変える能力で病原体と対抗している酵素を研究しています。この酵素の持つ働きと副作用の摩訶不思議な二面性を紹介します。



講演4 ゾウはなぜがんになりにくいか —がん幹細胞と代謝—

がん進展制御研究所 教授 高橋 智聡

RBというがんを防ぐ遺伝子の機能解析を突破口に、がんの転移・再発のメカニズムとされるがん幹細胞の働きを探索しています。これまでの研究から見てきたのは、栄養や代謝が、がんを防ぐこと・治すことにおいて、とても大事であるということです。



抗がん剤抵抗性がん幹細胞を ターゲットにする革新的治療戦略

がん進展制御研究所 准教授 仲 一仁 ポスター展示

「幹細胞」は、わたしたちのからだの細胞をつくり、健康を維持するうえで欠かせない細胞です。最近の研究で、がんにも、正常な幹細胞とよく似た性質をもつ「がん幹細胞」とよばれる細胞が存在していることが明らかになってきました。わたしたちは、このがん幹細胞の特性を解明し、がんを治療する薬の開発を目指した研究をしています。



晩産化時代の卵子提供ツーリズムと 国内解決法

医薬保健研究域医学系 助教 日比野 由利 ポスター展示

我が国は世界でも有数の不妊治療大国です。晩婚化・晩産化が進んでおり、加齢(卵子の老化)による不妊が増加しています。これにより、海外で卵子提供を受ける動きも加速しています。海外のクリニックを舞台とした、日本人間での卵子売買も広がりを見せつつあります。卵子提供ツーリズムは様々な倫理的・法的・社会的問題を孕んでいます。ツーリズムへの傾斜を制御するために、国内でどのような方法が必要かを考えます。

金沢大学 まちなかサイエンスセミナー 参加申込書

定員80名	入場無料	お申し込みは FAX・E-mail または 申込フォームから	FAX 076-234-4016 ✉ risomu@adm.kanazawa-u.ac.jp	申込フォームは QRコードから	
申込み切 2月28日(金) <small>(但し定員に達し次第締め切らせて頂きます)</small>					
参加者氏名	ふりがな				
職業	一般 ・ 本学教職員 ・ 本学学生				
TEL					
E-mail	@				

お問い合わせ先 金沢大学研究推進部研究推進課総務係 ☎ 076-264-6140

ご記入頂きました事項は目的以外の利用、もしくは第三者への提供はいたしません。